

## 平成26年度 専門委員会活動報告

### (1) 第1部会「コンテナクレーン遠隔操作システム調査研究委員会」

#### ①調査研究テーマ

コンテナクレーン遠隔操作システム調査研究（継続）

#### ②調査研究活動報告

平成25年度に引き続き国内外の事例を調査するとともにコンテナクレーンの遠隔化を実現するための技術的な課題等について整理した上で、実証実験を実施する場合の概算費用を算出し、試験方案を取りまとめ、「コンテナクレーン遠隔操作システム調査研究報告書」を作成した。

### (2) 第2部会「荷役機械に係る異分野技術調査研究委員会」

#### ①調査研究テーマ

荷役機械に係る異分野技術調査研究（継続）

#### ②調査研究活動報告

荷役機械技術と土木技術、ユーザ、行政との接点技術について平成25年度に引き続き、課題の抽出し、その内容について検討した。

##### 1) クレーンレールの維持管理基準とレールランプの性能

これについては問題点を指摘の上、付帯施設標準化調査研究委員会に検討を依頼した。

##### 2) 地方港湾におけるコンテナ荷役システムの在り方

これについては実態を調査するため38の港湾管理者に対しアンケートを調査票を送付し24の港湾管理者から回答があり解析を進めた。

### (3) 第3部会「付帯施設標準化調査研究委員会」

#### ①調査研究テーマ

コンテナクレーン製作工事共通仕様書の見直し（新規）

#### ②調査研究活動報告

平成11年3月に改訂したコンテナクレーン製作工事共通仕様書をベースに、前回改訂以降の技術の進歩を反映した内容とすべく記述内容の見直しを行った。また記述内容の見直しの際に根拠、参考とした資料等を解説編にまとめた。

現状、第4章「鋼構造部」、第5章「機械設備」に関する見直しを終了した。進捗度は50%程度と予定通りである。

### (4) 第4部会「荷役機械用電機設備調査研究委員会」

#### ①調査研究テーマ

コンテナクレーン制御システムのリスクアセスメント調査研究（継続）

#### ②調査研究活動報告

国際標準である安全規格をコンテナクレーンの制御システムに適用し評価を行い、現在稼働している最新のコンテナクレーンの安全性を定量的に証明できた。

また、将来さらに複雑になると思われる制御システムについても安全性を評価する手法を確立でき、より安全なコンテナクレーンを設計・製作するための指標となる「コンテナクレーン制御システムのリスクアセスメント調査研究報告書」を作成した。